

創造理数科企画 講演会「データサイエンスと社会実装」

令和4年9月17日（土）放課後、本校にて日立製作所研究開発グループ先端 AI イノベーションセンタシニアプロジェクトマネージャ保田淑子先生に「データサイエンスと社会実装」というテーマでご講演いただきました。

「データサイエンスって何？どう役に立っていく？」それが社会実装であるという言葉から始まり、「モノ売りからコト売りへ」、「プロダクトからサービスへ」、この30年間で社会は変化し、データを用いて新たな科学的・社会的に有益な知見を引き出そうとするアプローチや技術についてお話をいただきました。

また、データサイエンスの応用事例と活用プロセスとして、日立製作所が実際に扱っている金属探知機の映像を見せていただくと共に、人工知能に右向きの犬と左向きの猫を認識させた後、左向きの犬を猫と誤検知してしまうシチュエーションの具体例を示していただきました。

さらにデータサイエンスのはじめの一歩として、Data、Information、Knowledge、Wisdom という視点に立ち、可視化するとわかりやすいというお話がありました。

今後の課題研究において、生徒たちがデータを扱っていく上で注意しなくてはならないことを、今回の講演を通して学ぶことができ、有意義な機会となりました。



【生徒の感想より】

- ・データサイエンスとは今まで名前を聞いたことはあっても難しそうと思い、よく知らなかったもので、この機会に知ることができて良かった。データサイエンスに興味を持つきっかけとなった。フードデリバリーや監視カメラなど、自分たちの身近にあるような物に密接に関わっていると知って親近感が湧いた。
 - ・データサイエンスという言葉はあまり今まで生きてきて聞いたことがなく、身近でないような内容なのかなと思って、講演を受けに行きましたが、聞いてみると意外にも身近なものが多く、こうやって見えないところで支えてくれている技術や、見えないところで支えてくれている人にも感謝して日々生活していきたいと思いました。
 - ・データサイエンスは情報社会の形成と発展を支えている分野であり、常に進化している社会に因應するためこの分野もまた新しい知識や技術によってより高度になっていく点が独特だと思った。人生において勉強の終わりはないことがよく分かった。
 - ・保田先生、日立製作所訪問と今回の講演と続き、私たちのために意義深い講演をしてくださってありがとうございます。これらの講演は私たち理系を志す者としては、今後の研究や探究に必要不可欠なことであり、それを保田先生は丁寧にわかりやすく教えてもらいました。この教えを探究のみならず、大学や大学院での研究や企業での研究等に生かしていきます。素晴らしい講演ありがとうございました。
 - ・データの収集と分析の過程で、様々な能力が必要になる事が分かって、情報や機械を扱う能力だけでなく、読み取る論理的思考力や、結果を生かす創造的思考力の大切さも感じた。これは、今後の探究活動にも必要とされていく事だから、よく考え、これらの力を伸ばしていきたいと強く感じた。
- また、バイアスに関しての話も興味深く、講義を聞いて、公正なデータを収集するにはどうすればいいかという問題についてもよく考えなければいけないと思った。
- ・講演で、データサイエンスの重要性がよく分かりました。日常生活で利用されている例を通して、データサイエンスが社会に貢献していることが理解できました。特に面白いなと思ったのは、バイアスについてです。無意識のうちにバイアスが生じてしまうことがあるので、課題研究をする際に気をつけたいと思いました。興味深い講演をしていただいてありがとうございました。